



東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

「楽しみ」を見付ける

校長 鳥居 夕子



最近、季節が秋を飛び越えて冬を感じる日も多いような気がします。「四季」の移り変わりを楽しむことができる日本の良さにも気候変動による変化が表れています。朝、夕の寒さに体調を崩されませんように、健康には十分気を付けてお過ごしください。

さて、先日3、4年生は武蔵村山市にある六道山公園へ出掛け、自然の丘陵を利用した野外活動の施設で思う存分身体を動かしました。4年生と3年生で混合のグループを編成

し、決められた時間で施設内の様々なアクティビティーで楽しみました。天候にも恵まれ、子供たちは自粛生活でためているエネルギーを発散。笑い声と笑顔があふれる時間となりました。

また、24日(日)に、羽村市青少年対策松林地区委員会がいも掘りを企画してくださいました。日頃から松林小学校の学校園のお手入れや子供たちの学習のお手伝いをしてくださっている「めぐみネット」の皆さんもお手伝いをしてくださいました。参加した児童は、ずっしりと成長したさつまいもを次から次へと掘り出していきました。土の中から顔を出すさつまいもを傷付けないように、折らないように丁寧に周囲の土をかき分ける子、こちらがひやひやしてしまうほど大胆に土から力ずくで抜いてしまう子、こんなところにも個性が出るなど、思わず笑ってしまうような場面をたくさん見ることができました。

こうした活動を見ながら気付いたことがあります。子供たちは、今ある環境の中、自分たちで楽しみを見付けたり、遊びを創造したりすることができるということです。緊急事態宣言中、休み時間に遊技やボール等の使用を控えていましたが、それでも子供たちは、教室や校庭で各々が楽しみを見付け、休み時間を過ごしていました。児童が登校するのを迎える時もそれを感じます。「校長先生！バッタを捕まえた」「カマキリがいたよ」と笑顔で駆け寄ってきます。また、ダンゴムシを大事そうに手の中に入れて見せてくれる児童もいます。登校するというだけのことを遊びに変えてしまう子供たち、毎朝の出勤が辛いと感じることもある私たち大人も見習いたいものです。



緊急事態宣言も明け、新規の感染者数も減少している今、これまでできなかったことを企画しているご家庭もあるかと思いますが、仕事や家事で忙しく、何も特別なことはできないというご家庭もあるのではないのでしょうか。心配はいりません。スマホやタブレット、ゲーム機を置いて、手ぶらで外へ出掛けてみませんか？そして、子供たちが見付けてくれる「楽しみ」を共に楽しんでみてはいかがでしょうか。

